

1. 平成 29 年度 科内目標

《業務目標》

1. 小児外来リハビリ対応推進を継続
就学前までの小児リハビリ対象者の受け入れを継続。
2. 新生児 1500g 以下の極低出生体重児へのリハビリ介入を実施する。
スタッフ教育と実施内容の確立を進める。
3. 休日リハビリ対応の変更
月曜日から土曜日まで充実したリハビリテーションを提供する。土曜日の出勤数を 4 名に拡大、祝日も 4 名体制として、日曜日以外は連続したリハビリテーションを提供。
4. 他部署との連携強化の継続
各病棟とのカンファレンス、各科の医師回診への参加を継続。他部署との連携を強化・継続する。

《数値目標》

1. 患者件数の増加 28 年度の実績 10035 件以上を目指す。
2. 療法士 1 人あたり、1 日算定単位数の年間平均を 18 単位とする。
3. 業務改善による、時間外勤務時間数の是正を図る。

2. 診療体制（施設基準・特徴・臨床活動）・スタッフ

当科は、外来スペースにリハビリ室 1 (81.0 m²)と言語聴覚室(10.62 m²)、4 階病棟に病棟リハビリ室 2 (32.63 m²)を設けている。

施設基準

脳血管疾患等リハビリテーションⅡ
廃用症候群リハビリテーションⅡ
運動器疾患リハビリテーションⅠ
呼吸器疾患リハビリテーションⅠ
がん患者リハビリテーション

スタッフ 10 名
医師 1 名
理学療法士 6 名
作業療法士 2 名
言語聴覚士 1 名

リハビリテーション部門として、月曜から土曜日まで連続したリハビリテーションを提供している。

術後や入院早期から離床を促し、疼痛コントロール、廃用症候群の予防、機能維持・改善、生活に必要な可動域や筋力の獲得、生活動作獲得、応用動作の指導を行っている。

医師回診や病棟カンファレンスに積極的に参加し他部門との連携を図りながら個々の患者に合った対応に努めている。

3. 業務実績（平成 29 年度）

表1, 平成29年度診療科別
リハビリ提供件数

診療科	延べ件数
外科	4588
内科(消化器等)	3967
循環器内科	1421
新生児科	1145
小児科	969
整形外科	623
産科・婦人科	94
その他	354
合計	13161

(件)

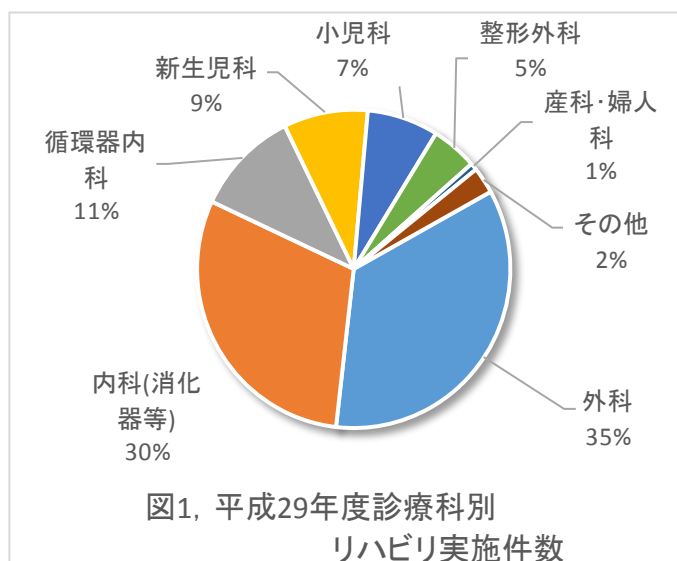
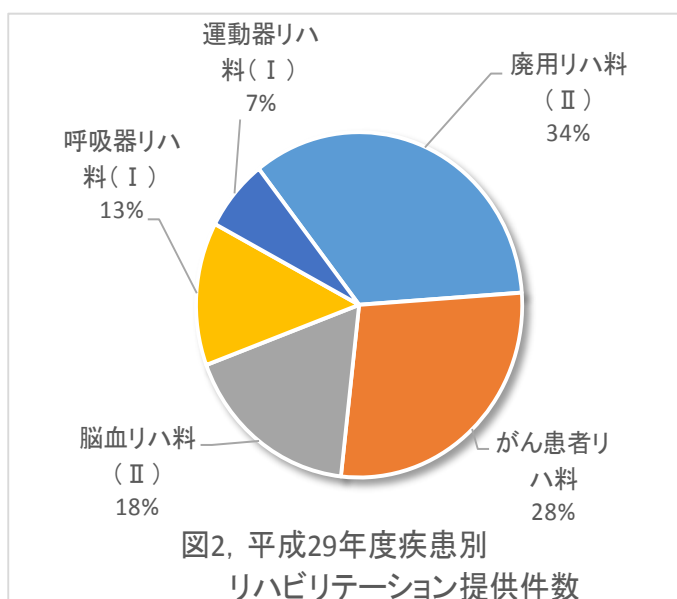


表2, 平成29年度疾患別
リハビリテーション提供件数

疾患別リハ	延べ件数
廃用リハ料(Ⅱ)	4520
がん患者リハ料	3663
脳血リハ料(Ⅱ)	2304
呼吸器リハ料(Ⅰ)	1761
運動器リハ料(Ⅰ)	879

(件)



4. 1年間の総括

平成 29 年度は、新しい取り組みとして新生児 1500g 以下の発達援助のリハビリ介入を実施する為、準備を進め、10 月より開始した。

休日リハビリにおいては、海浜病院での患者サービスの実情に沿った勤務体制の再検討を行い、28 年度に実施していた土・日・祝日の勤務体制を見直し、土・祝日を 4 名体制にして月曜日から土曜日まで充実したリハビリテーションを提供した。

これにより、休日の新患対応も可能になった。休日の出勤人数が多くなったことで年間患者件数にも良い結果となり、目標の件数を 3000 件以上上回る結果となった。療法士 1 人 1 日の単位数についても年間平均で 16.8 単位となり 28 年度の 14.5 単位を大きく上回った。平均値では目標の 18 単位にはとどか

なかったが、個々では数名が目標値の18単位を超える実績を上げられるようになっている。

また、時間外業務時間数の是正にも取り組み、28年度リハビリ科全体で1676時間あった時間外を980時間に減らし約60%の削減を行っている。

今後の新たな役割として、千葉市が実施している地域包括ケア推進の中で、地域リハビリテーション活動支援事業を担って行けるように、地域包括ケア推進リーダーや介護予防推進リーダーの研修に参加、育成を行った。年度末には千葉市自立促進ケア会議に参加している。

5. 今後の目標

30年度は、新生児科との連携を強化して、新生児リハビリの充実を図る。

また、病院の中だけでなく、地域への貢献も視野に入れ、地域包括ケア推進リーダーの認定を受け、千葉市自立促進ケア会議への参加や市民の健康寿命を延ばすため、地域住民への働きかけの場に参加出来るように準備を進めて行かなければならないと考えている。